

「おむつのサブスク実証実験」のアンケート結果を公表します

—保護者の 97 %が「登園準備が楽になった」と回答—

本市では、保育所等に通うこどもを持つ保護者の負担軽減や保育現場の業務改善を目的として、11月に公立保育所 6 所において「おむつのサブスク実証実験」※参考を行いました。

実験後、アンケート調査を行ったところ、別紙のとおり、保護者のほとんどが「登園準備が楽になった」「満足」と回答されました。

こうした実験の結果を踏まえ、来年度の導入に向け検討を行っていきます。

「おむつのサブスク実証実験」のアンケート

目 的	保護者の負担軽減、保育現場の業務改善
対 象	市内公立保育所 6 所（西多治米、駅家、蔵王、あけぼの、柳津、神辺）
調 査 方 法	保育アプリを活用した web アンケート
実 施 期 間	2025 年（令和 7 年）12 月 1 日～10 日 10 日間
回 収 率	86.1% (180/209 人)

※参考

おむつのサブスク実証実験

期間	2025 年（令和 7 年）11 月 1 日～30 日 1 か月間
場所	市内公立保育所 6 所 (西多治米、駅家、蔵王、あけぼの、柳津、神辺)
対象	0 歳児、1 歳児、2 歳児
導入用品	おむつ・おしりふき、紙エプロン・手口ふき
費用	実証実験は無料（※導入後は保護者負担）